

平成23～24年度

文部科学省 先導的大学改革推進委託事業

今後の教職大学院におけるカリキュラムの在り方に関する調査研究

質問紙調査データ集

平成24年11月

国立大学法人 兵庫教育大学

「今後の教職大学院におけるカリキュラムの在り方に関する調査研究」

質問紙調査データ集

目 次

1. 修了生に対するアンケート結果	1
回答者の概要	1
回答の集計結果	1
カリキュラム全体について	1
教育方法・授業形態について	4
課題研究（特定の課題についての成果を示す論文作成や課題の追究等）について	5
実習について	7
2. 在籍院生に対するアンケート結果	10
回答者の概要	10
回答の集計結果	10
カリキュラム全体について	10
教育方法・授業形態について	13
課題研究（特定の課題についての成果を示す論文作成や課題の追究等）について	15
実習について	16
3. 教員に対するアンケート結果	19
回答者の概要	19
回答の集計結果	19
カリキュラム全体について	19
教育方法・授業形態について	22
課題研究（特定の課題についての成果を示す論文作成や課題の追究等）について	24
実習について	25
4. 質問紙調査票一式	27
修了生用	27
在籍院生用（2年次以上）	34
教員用	41

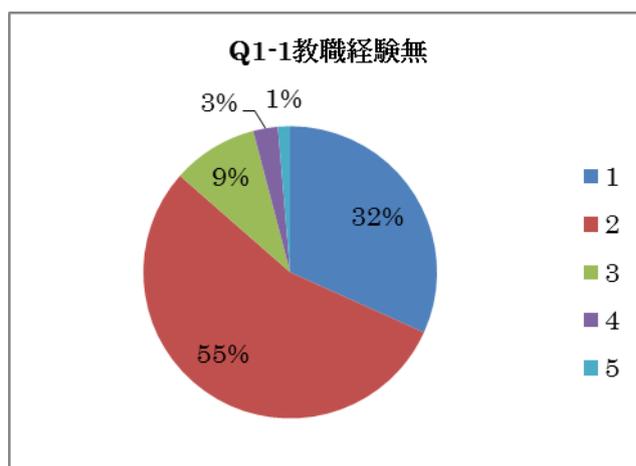
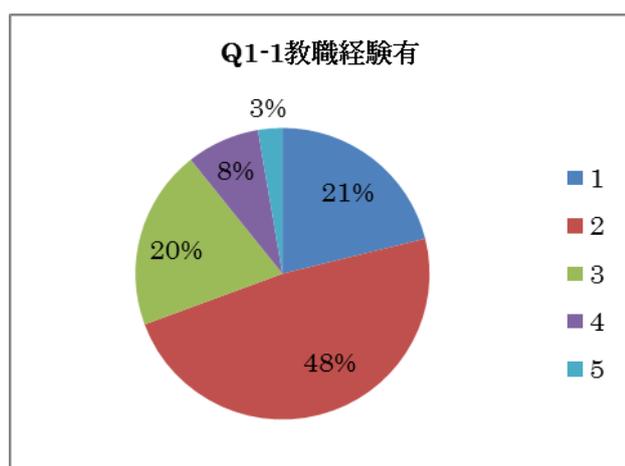
教職大学院修了生に対するアンケート

(1) 回答者の概要

配布数・回答数・有効回答率	配布数		回答数		有効回答率	
	1 5 9 9		4 9 4		3 0 . 9 %	
性別 (M/F)	M			F		
	6 1 . 5 %			3 8 . 1 %		
年齢	2 0 代	3 0 代	4 0 代	5 0 代		
	3 0 . 6 %	1 3 . 8 %	4 4 . 7 %	6 . 5 %		
教職経験	有			無		
	6 8 . 8 %			3 0 . 2 %		
教職経験年数	10年未満	10年～20年未満	20年～30年未満	30年以上		
	1 0 . 3 %	4 8 . 8 %	1 0 . 3 %	4 8 . 8 %		
教職大学院修了年度	2 0 0 8 年度	2 0 0 9 度	2 0 0 8 年度	2 0 0 9 度		
	3 . 4 %	1 6 . 4 %	3 . 4 %	1 6 . 4 %		
出身大学・学部	養成系			一般系		
	6 0 . 9 %			3 8 . 1 %		

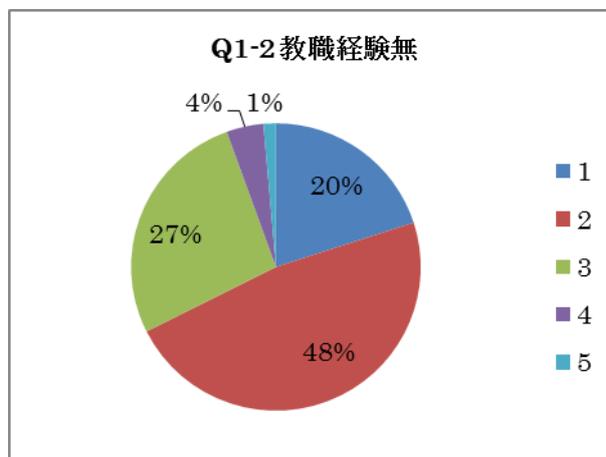
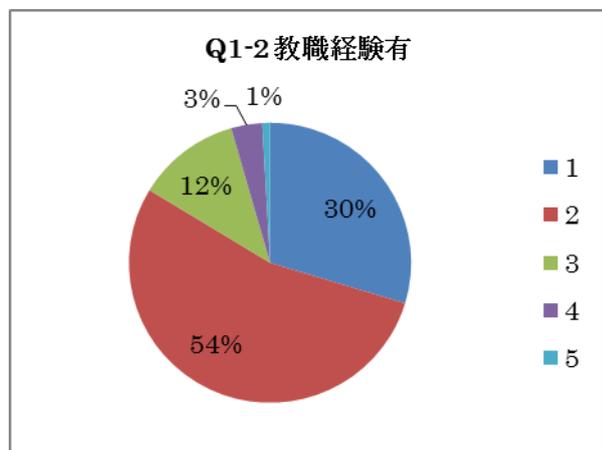
(2) 回答の集計結果

Q1-1. カリキュラムは全体として、新しい学校づくりの有力な一員となり得る新人教員の養成にふさわしいものだった。



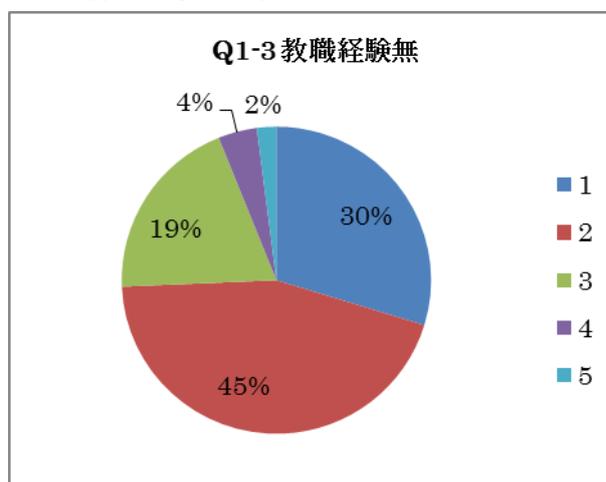
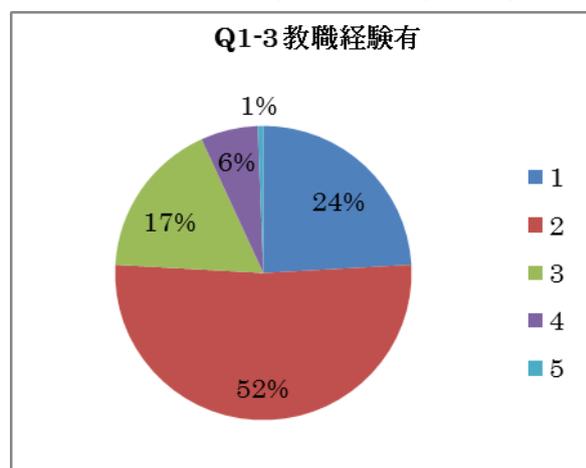
1 そう思う 2 どちらかといえばそう思う 3 どちらともいえない 4 どちらかといえばそう思わない 5 そう思わない

Q1-2. カリキュラムは全体として、確かな指導理論と優れた実践力・応用力を備えたスクールリーダー（中核的中堅教員）の養成にふさわしいものだった。



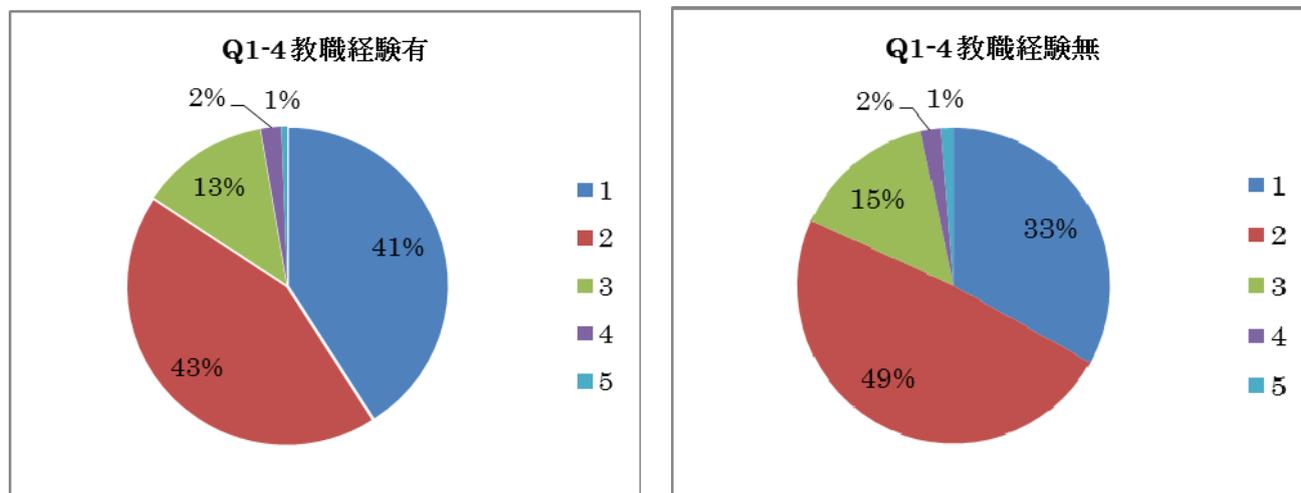
1 そう思う 2 どちらかといえばそう思う 3 どちらともいえない 4 どちらかといえばそう思わない 5 そう思わない

Q1-3. カリキュラムは全体として、学校現場の具体的な教育課題の解決に役立つものであった。



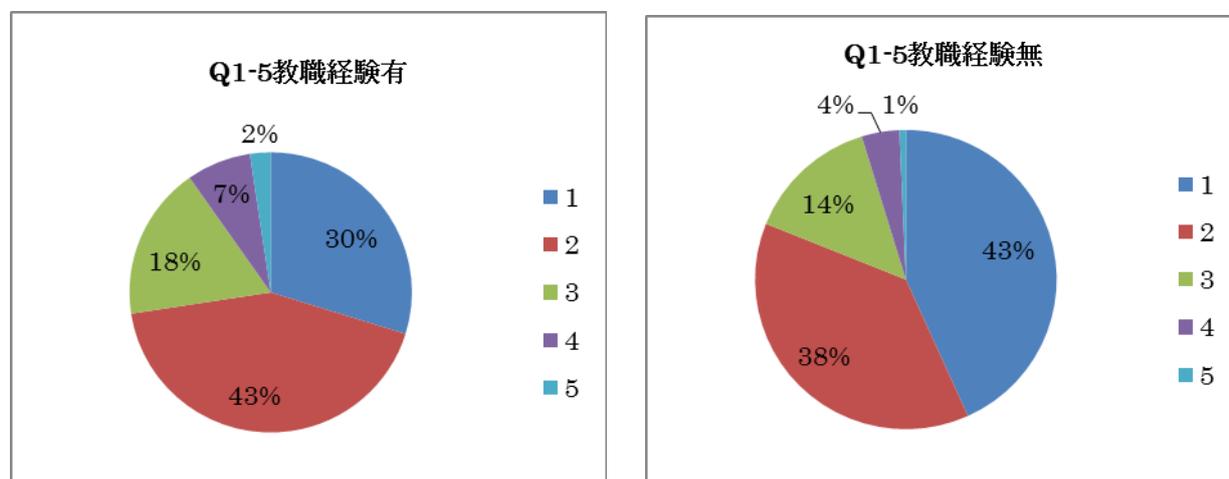
1 そう思う 2 どちらかといえばそう思う 3 どちらともいえない 4 どちらかといえばそう思わない 5 そう思わない

Q1-4. カリキュラムは全体として、リフレクション（省察，内省）をもたらすものであった。



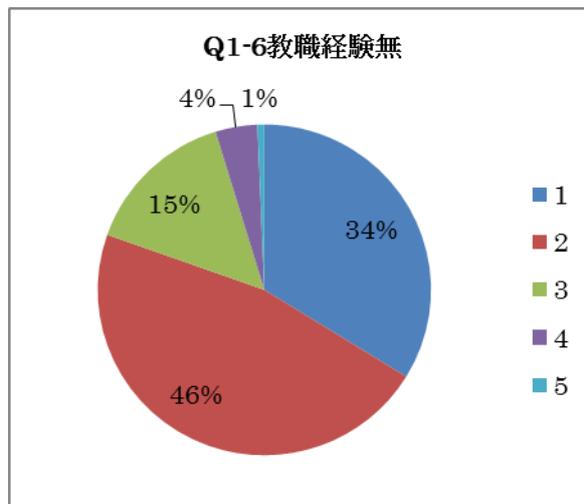
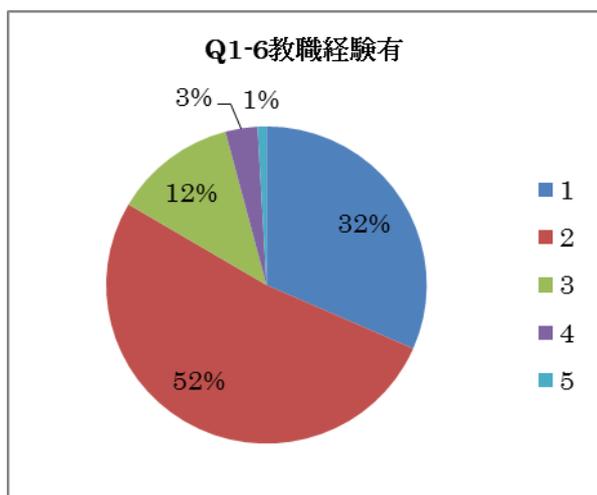
1 そう思う 2 どちらかといえばそう思う 3 どちらともいえない 4 どちらかといえばそう思わない 5 そう思わない

Q1-5. 「共通（基本）科目」, 「コース（分野）別選択科目」, 「学校における実習」という科目構成は適切だった。



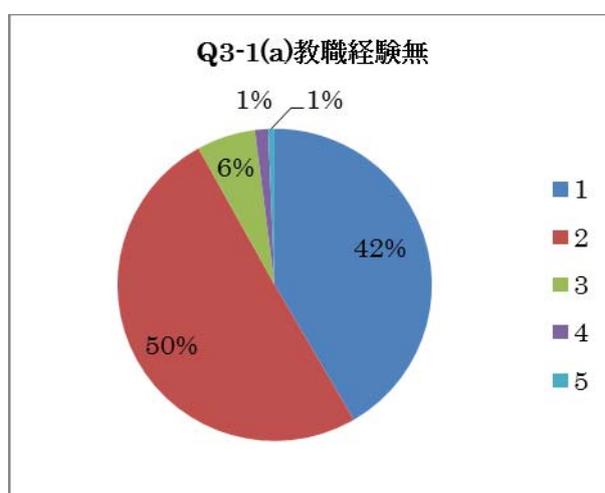
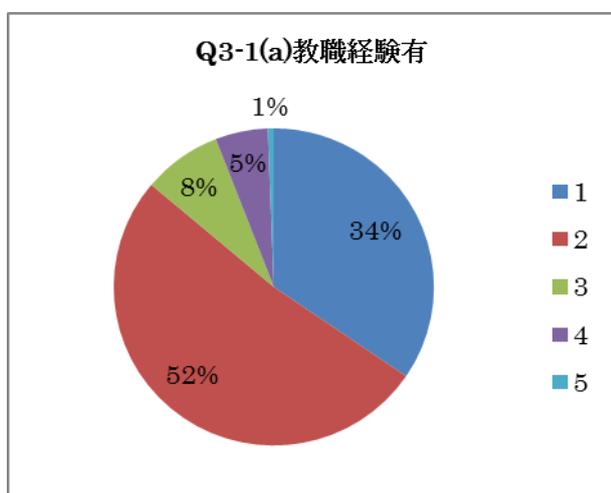
1 そう思う 2 どちらかといえばそう思う 3 どちらともいえない 4 どちらかといえばそう思わない 5 そう思わない

Q1-6. 現在、共通（基本）科目として開設されている領域の設定は適切だった。



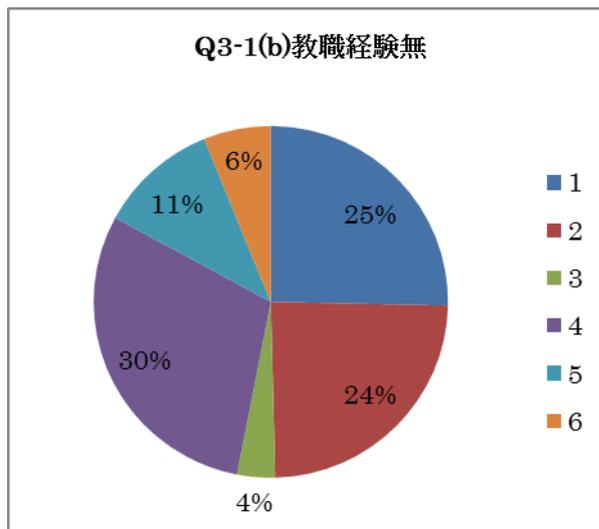
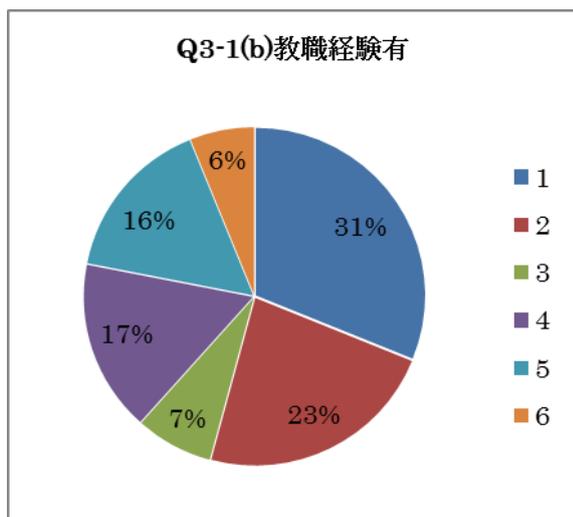
1 そう思う 2 どちらかといえばそう思う 3 どちらともいえない 4 どちらかといえばそう思わない 5 そう思わない

Q3-1(a). 教職大学院の教育方法・授業形態は、自らの力量の形成・向上に効果的なものが多かった。



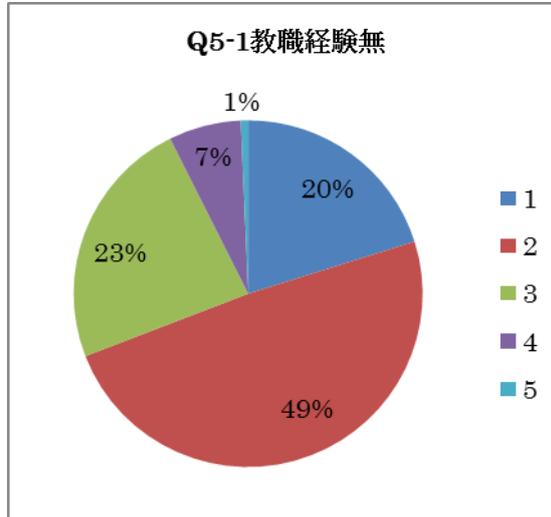
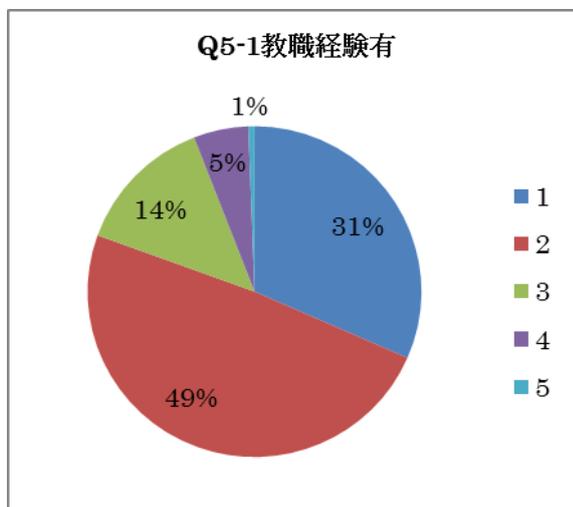
1 そう思う 2 どちらかといえばそう思う 3 どちらともいえない 4 どちらかといえばそう思わない 5 そう思わない

Q3-1(b) Q3-1(a)で「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の理由について。



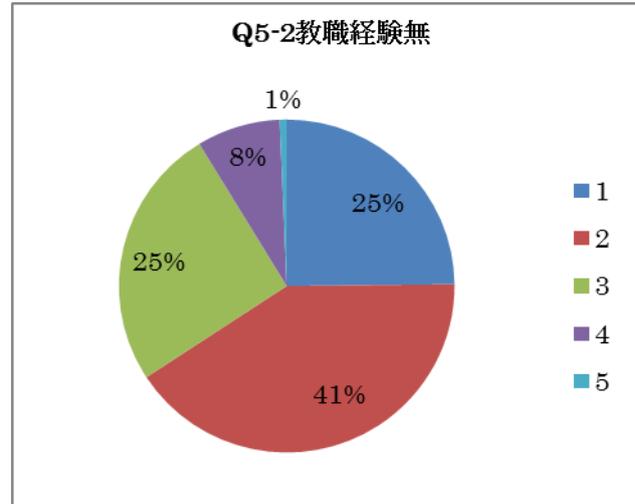
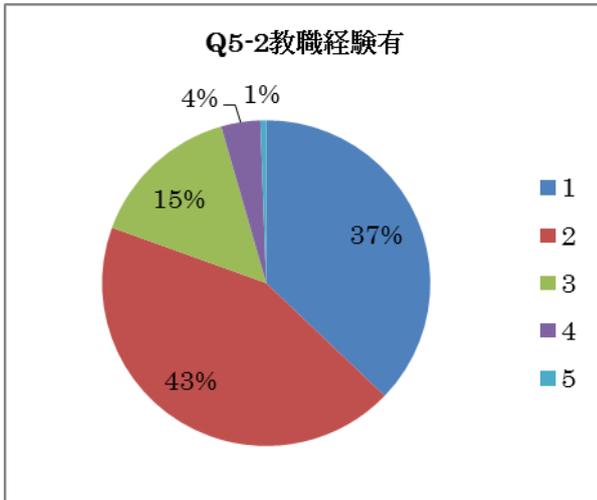
1. 事例研究、フィールドワーク、ロールプレイング等が積極的に導入されているから／2. 実務家教員等の実務経験者による指導が行われているから／3. 「現職教員としての経験を有する学生」と「学部新卒者」を分けて授業が行われているから／4. 「現職教員としての経験を有する学生」と「学部新卒者」を一緒にした授業が行われているから／5. 少人数で授業が行われているから／6. その他

Q5-1. 「課題研究等」によって、教職大学院の授業で学んだ成果が統合された。



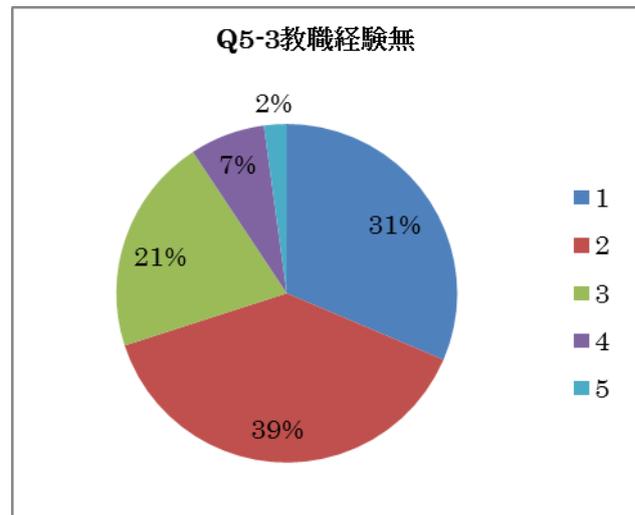
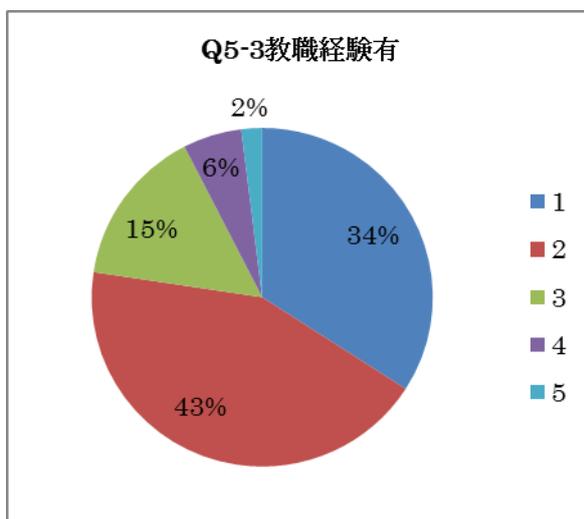
1 そう思う 2 どちらかといえばそう思う 3 どちらともいえない 4 どちらかといえばそう思わない 5 そう思わない

Q5-2. 「課題研究等」は、「理論と実践の融合」を実現するのに有効であった。



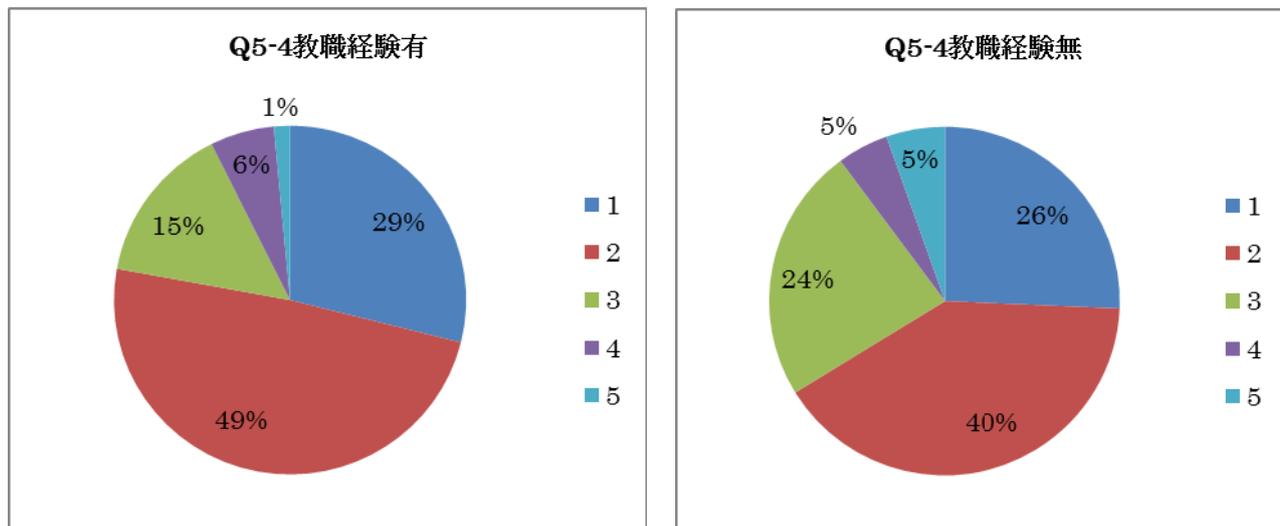
1 そう思う 2 どちらかといえばそう思う 3 どちらともいえない 4 どちらかといえばそう思わない 5 そう思わない

Q5-3. 「課題研究等」は、教職大学院での学びの集大成となるものであった。



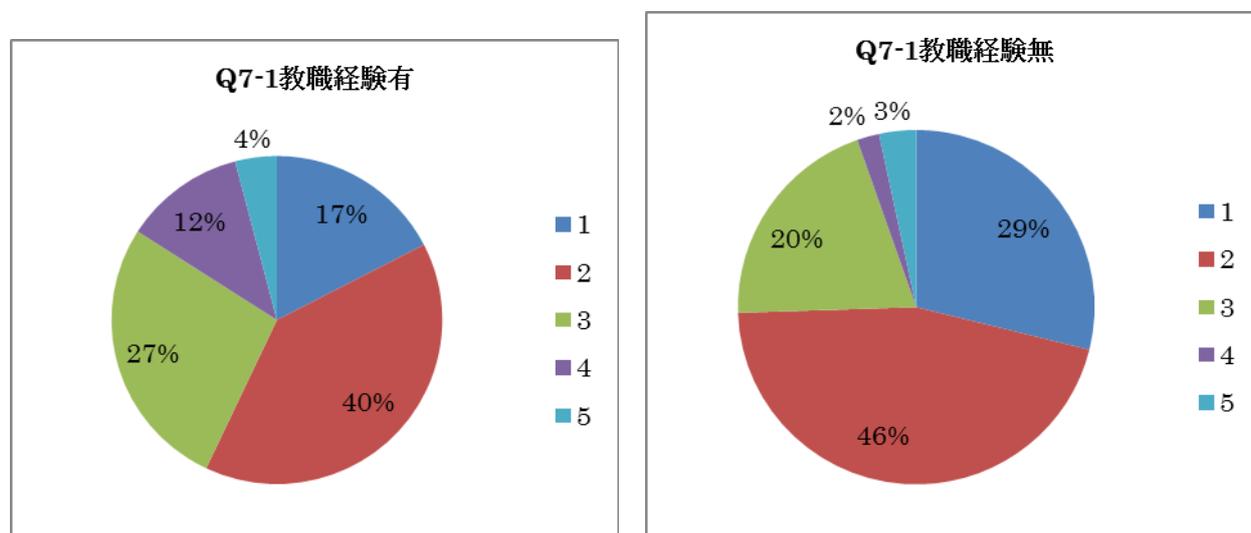
1 そう思う 2 どちらかといえばそう思う 3 どちらともいえない 4 どちらかといえばそう思わない 5 そう思わない

Q5-4 「課題研究等」は、総合的にみて、満足いくものであった。



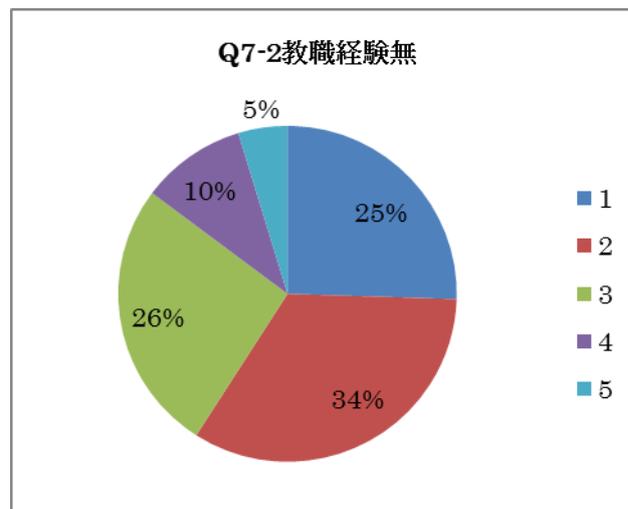
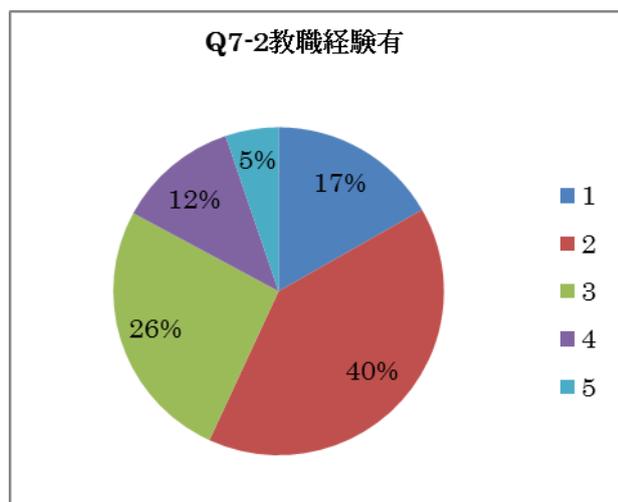
1 そう思う 2 どちらかといえばそう思う 3 どちらともいえない 4 どちらかといえばそう思わない 5 そう思わない

Q7-1. 実習によって、教職大学院の授業で学んだ成果が統合された



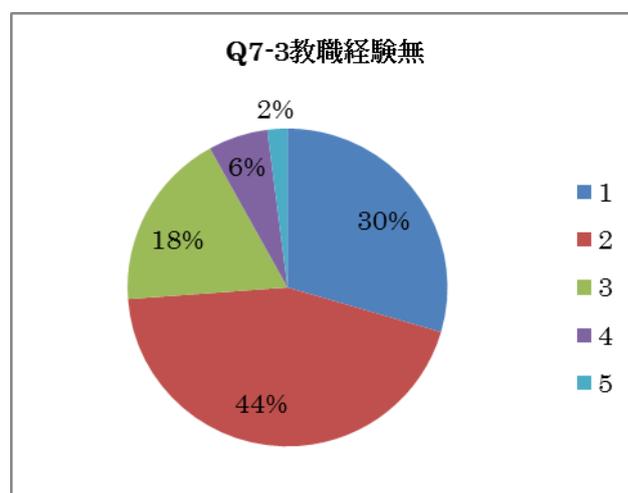
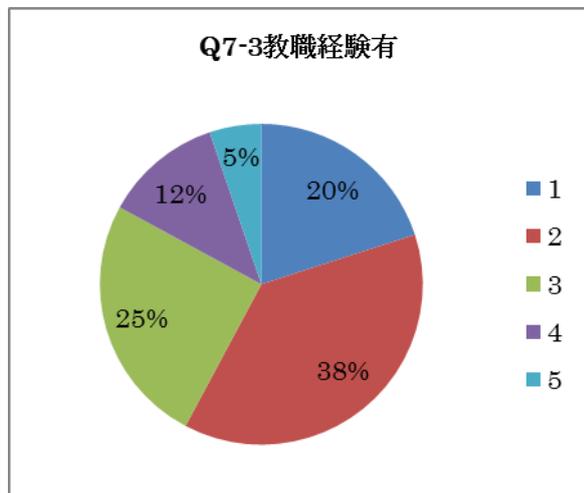
1 そう思う 2 どちらかといえばそう思う 3 どちらともいえない 4 どちらかといえばそう思わない 5 そう思わない

Q7-2. 実習を通して、実習校の教育研究活動に貢献することができた。



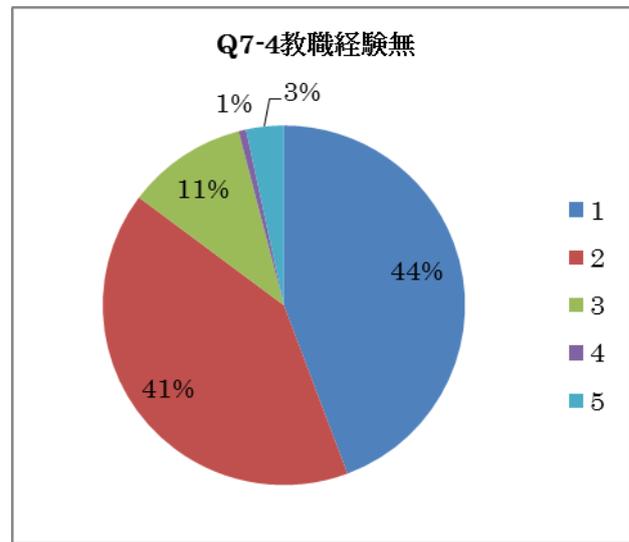
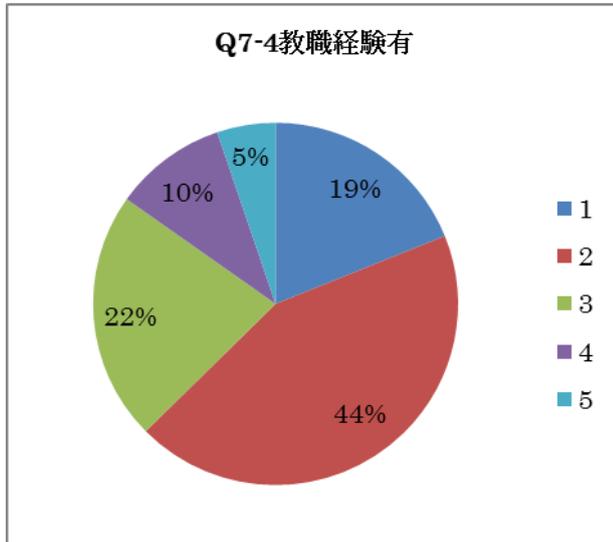
1 と思う 2 どちらかといえばと思う 3 どちらともいえない 4 どちらかといえばそう思わない 5 そう思わない

Q7-3. 実習は、「理論と実践の融合」を実現するのに有効であった。



1 と思う 2 どちらかといえばと思う 3 どちらともいえない 4 どちらかといえばそう思わない 5 そう思わない

Q7-4(a). 実習は、総合的に見て、満足いくものであった。



1 そう思う 2 どちらかといえばそう思う 3 どちらともいえない 4 どちらかといえばそう思わない 5 そう思わない

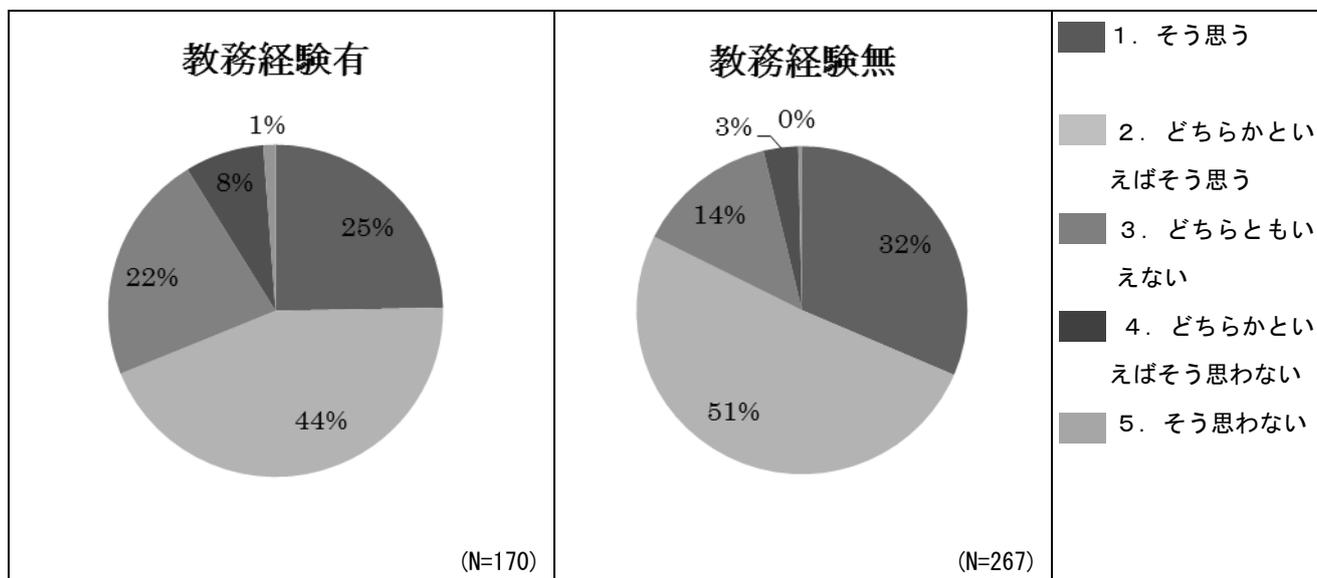
教職大学院在校生に対するアンケート結果

(1) 回答者の概要

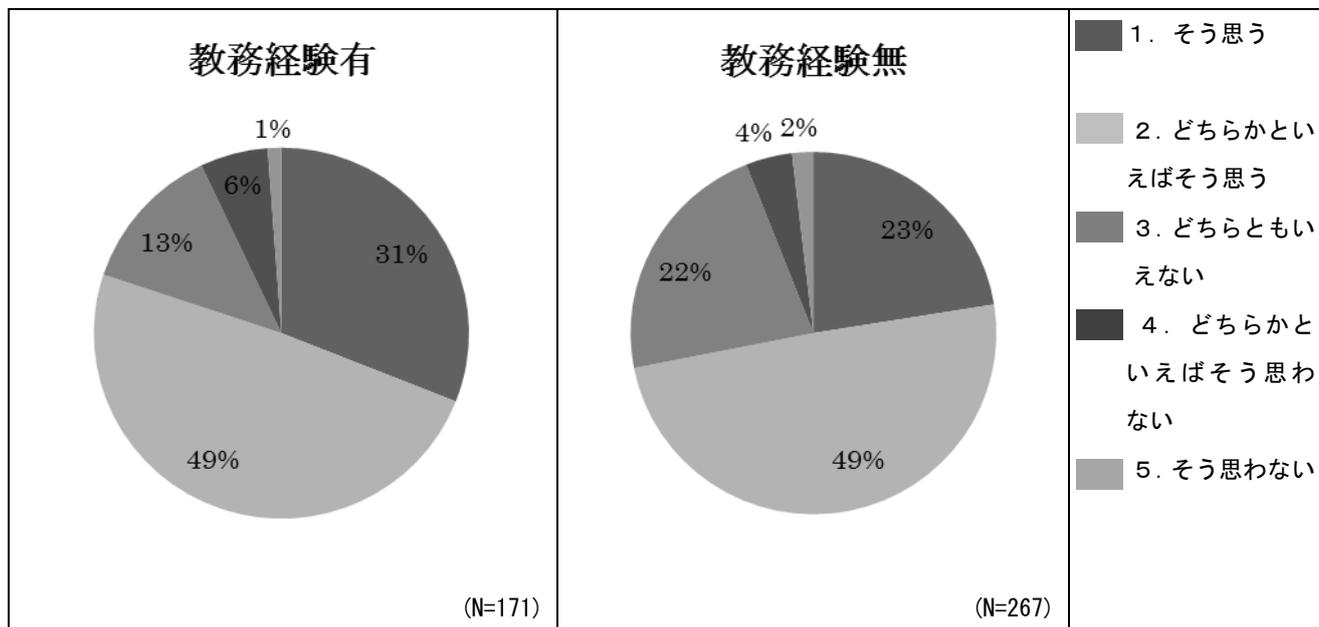
配布数・回答数・ 有効回答率	配布数		回答数		有効回答率
	671		444		65.9%
性別 (M/F)	M			F	
	59.7%			39.8%	
年齢	20代	30代	40代	50代	
	62.2%	13.3%	20.8%	1.8%	
教職経験	有			無	
	60.4%			———	
教職経験年数	10年以下	11年～20年未 満	21年以上		
	18.0%	58.7%	23.3%		
出身大学・学部	養成系			一般系	
	45.2%			52.9%	

(2) 回答の集計結果

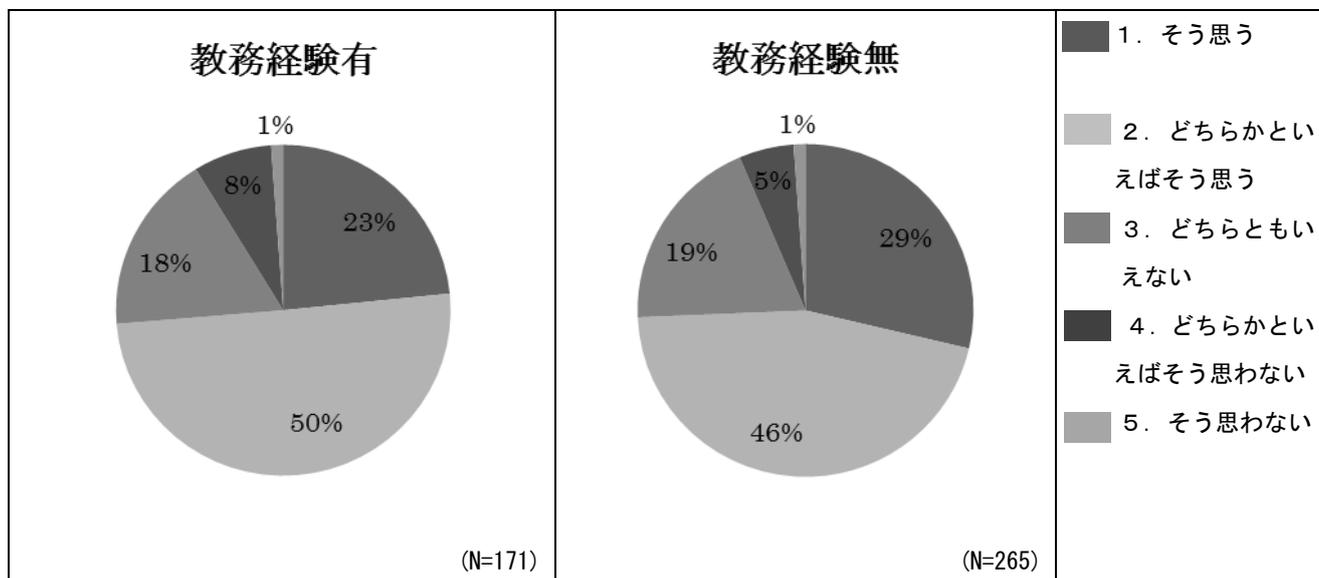
a) Q1-1. カリキュラムは全体として、新しい学校づくりの有力な一員となり得る新人教員の養成にふさわしいものである。(N=437)



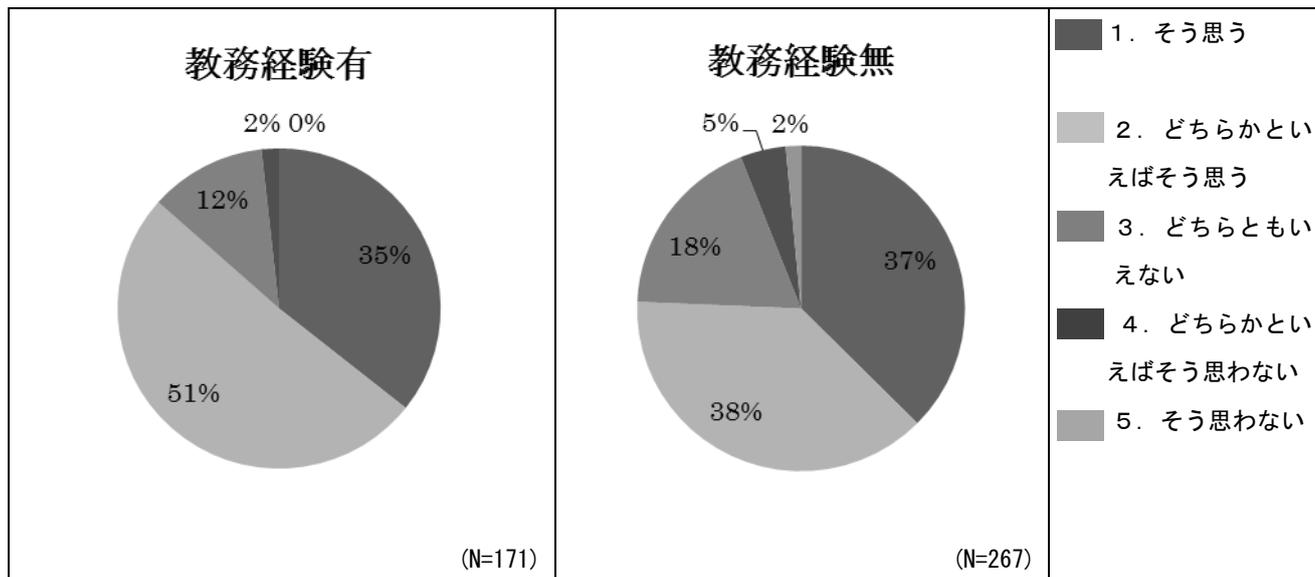
b) Q1-2. カリキュラムは全体として、確かな指導理論と優れた実践力・応用力を備えたスクールリーダー（中核的中堅教員）の養成にふさわしいものである。(N=438)



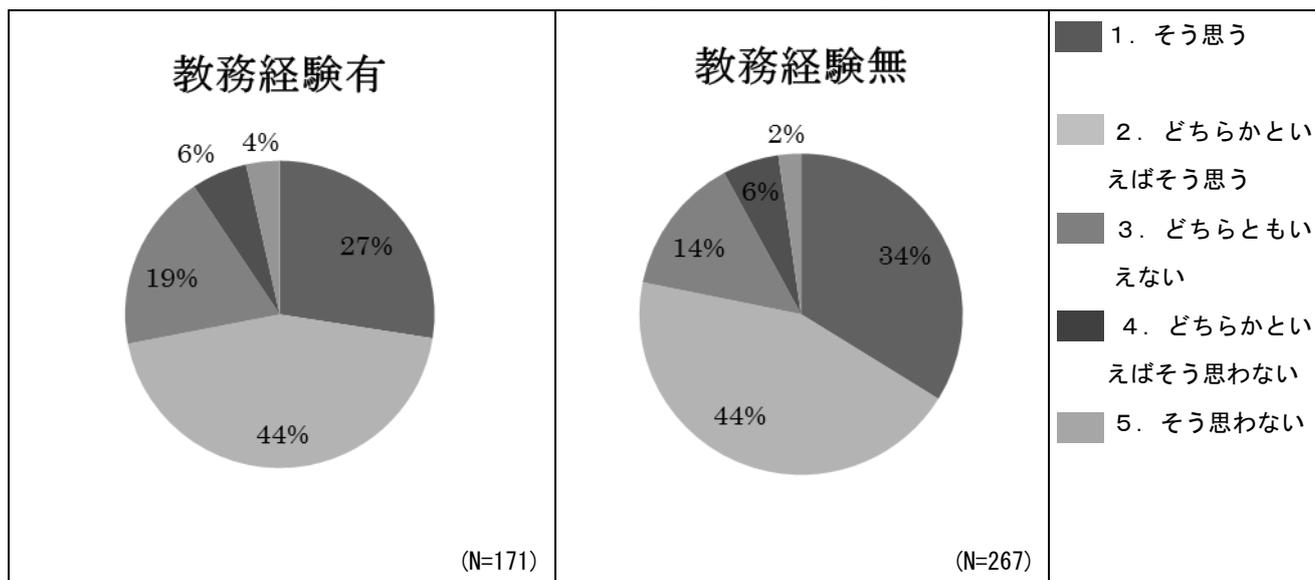
c) Q1-3. カリキュラムは全体として、学校現場の具体的な教育課題の解決に役立つものである。(N=436)



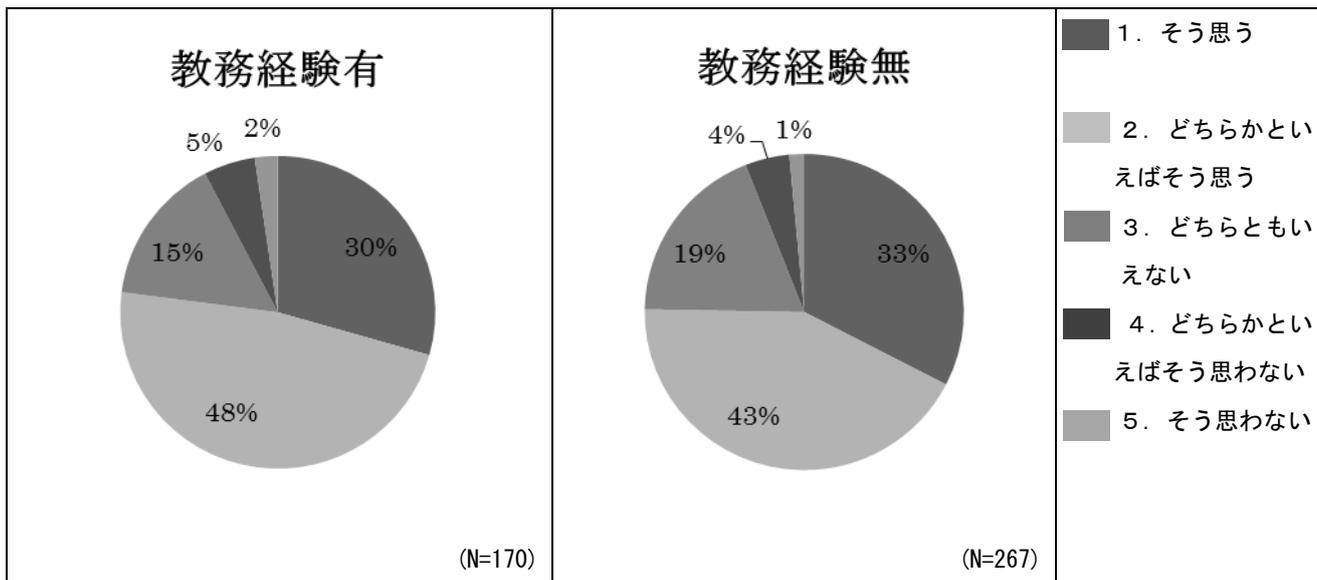
d) Q1-4. カリキュラムは全体として、リフレクション（省察，内省）をもたらすものである。(N=438)



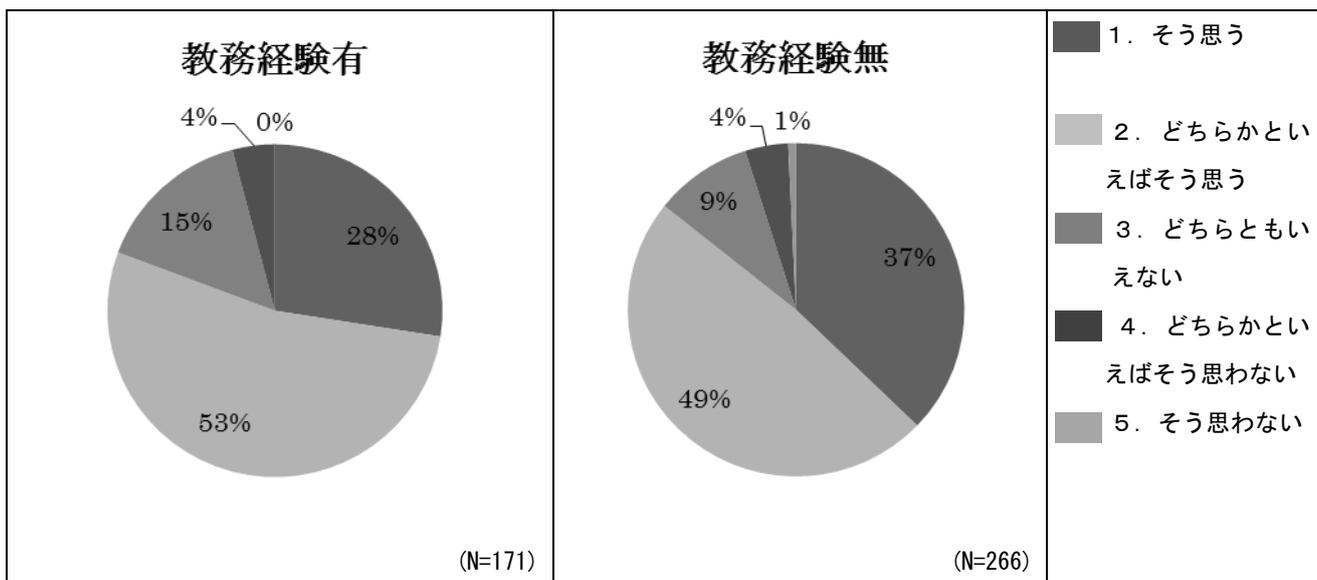
e) Q1-5. 「共通（基本）科目」, 「コース（分野）別選択科目」, 「学校における実習」という科目構成は適切である。(N=437)



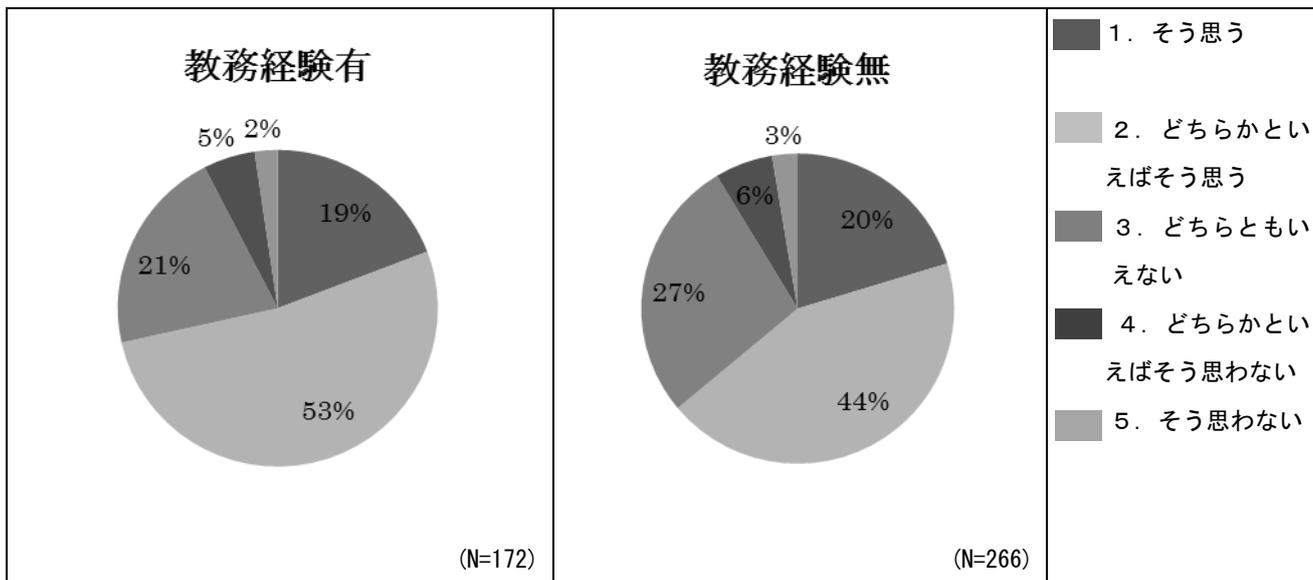
f) Q1-6(a). 現在, 共通(基本)科目として開設されている5領域(※)の設定は適切である。(N=437)



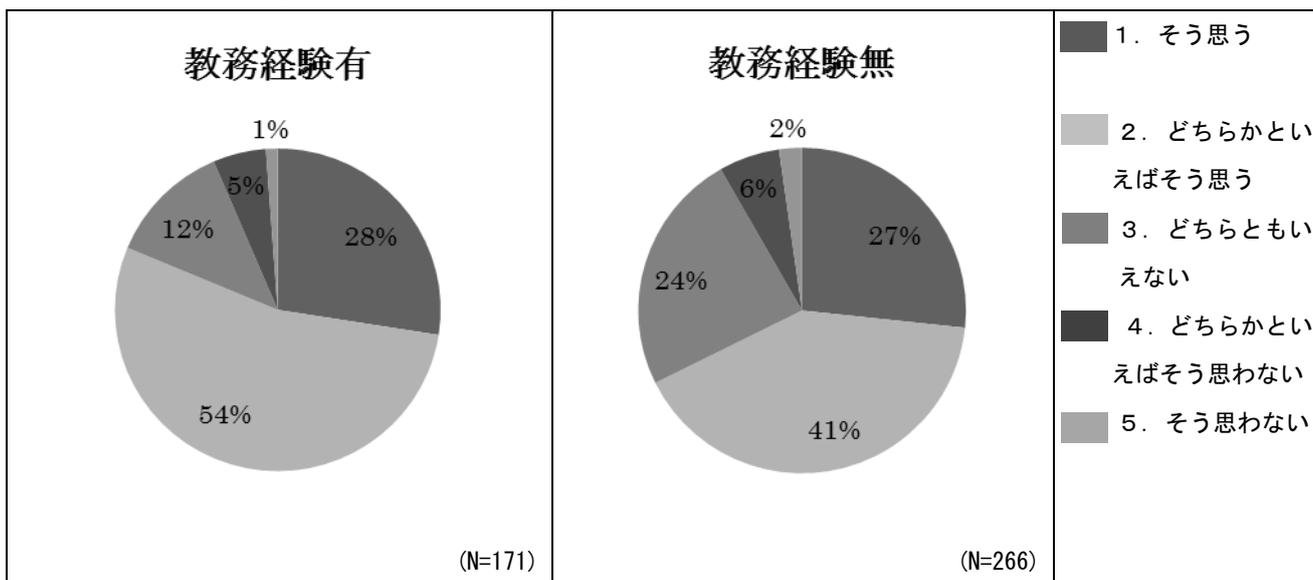
a) Q3-1(a). 教職大学院の教育方法・授業形態は, 自らの力量の形成・向上に効果的なものが多い。(N=437)



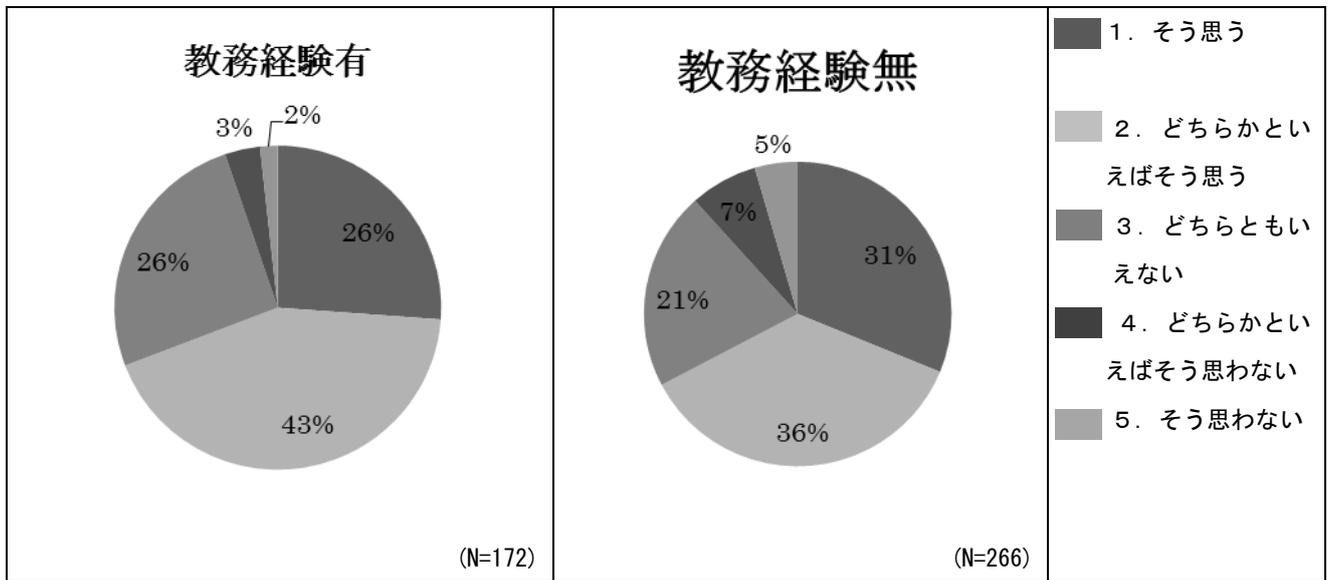
a) Q5-1. 「課題研究等」によって、教職大学院の授業で学んだ成果が統合されると思う。(N=438)



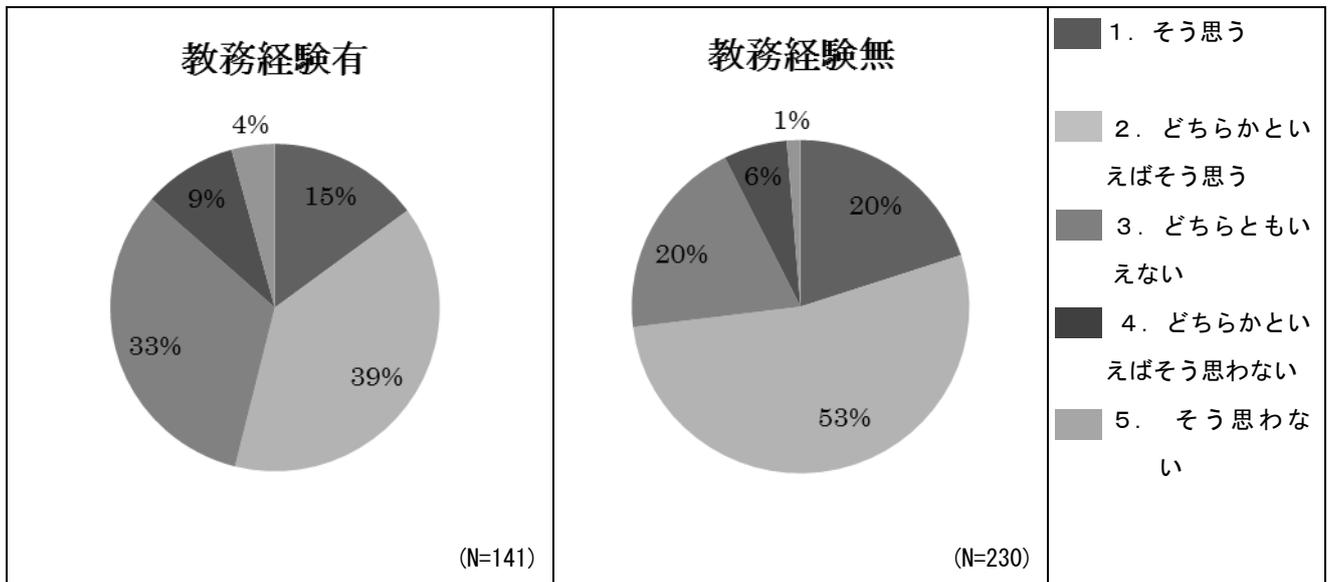
b) Q5-2. 「課題研究等」は、「理論と実践の融合」を実現するのに有効だと思う。(N=437)



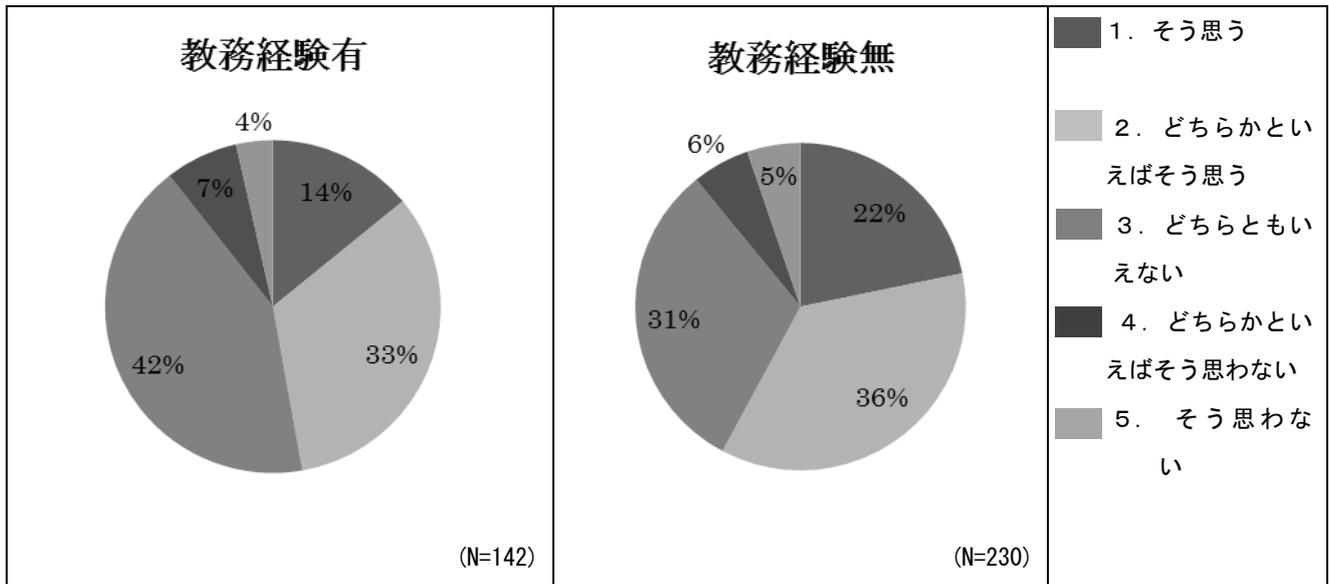
c) Q5-3. 「課題研究等」は、教職大学院での学びの集大成となるものだと思う。(N=438)



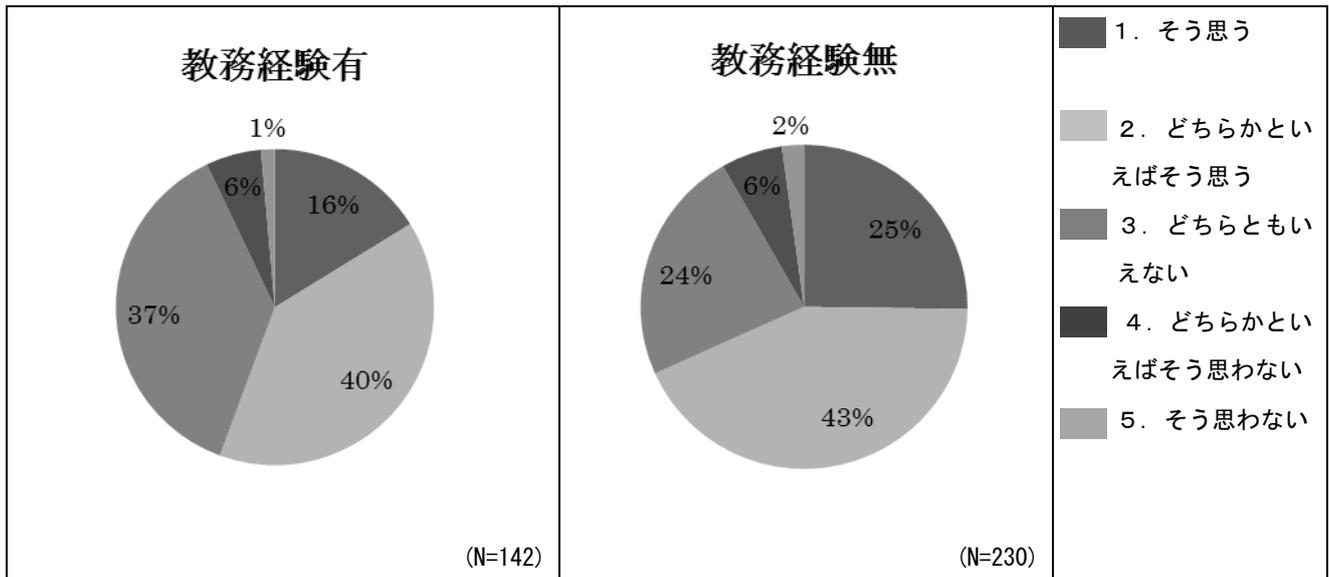
a) Q7-1. 実習によって、教職大学院の授業で学んだ成果が統合された。(N=371)



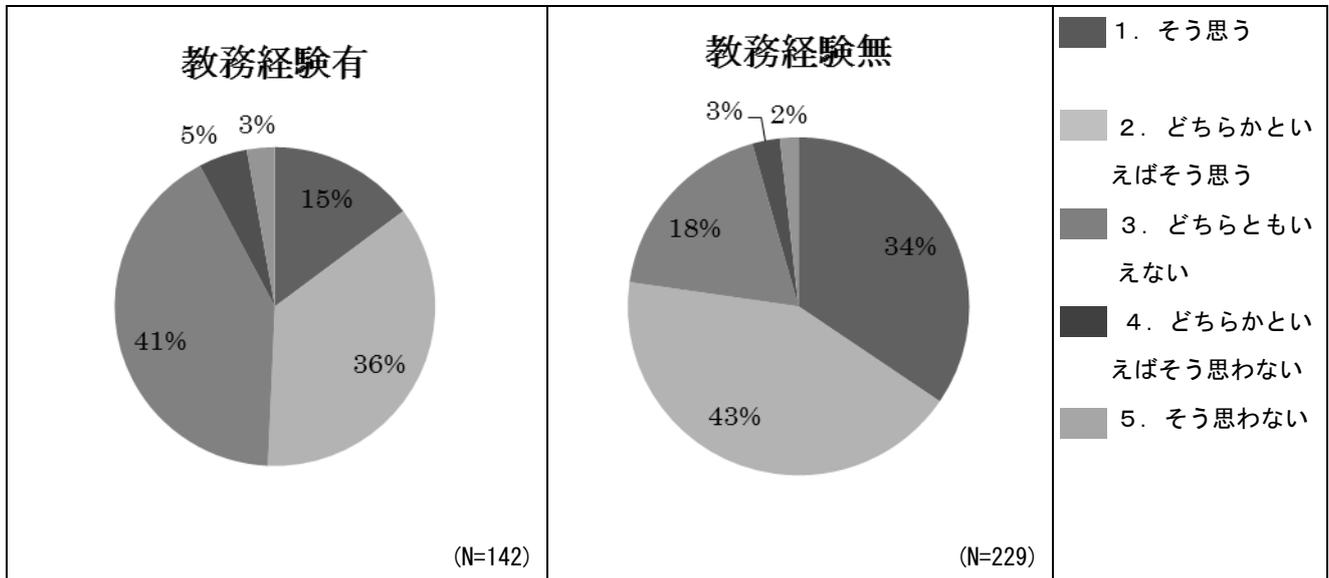
b) Q7-2. 実習を通して、実習校の教育研究活動に貢献することができた。(N=372)



c) Q7-3. 実習は、「理論と実践の融合」を実現するのに有効であった。(N=372)



d) Q7-4(a). 実習は、総合的に見て、満足のいくものであった。(N=371)



1. 教職大学院教員に対するアンケート

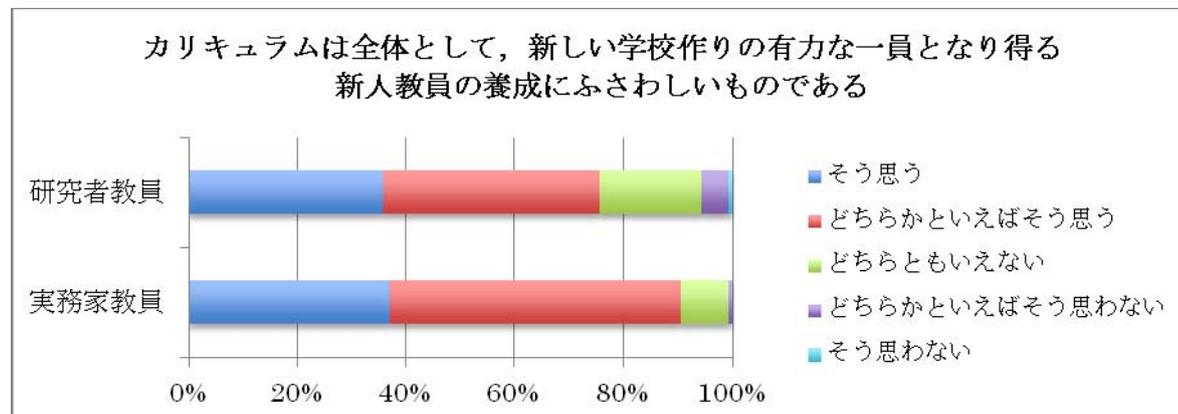
(1) 回答者の概要

配布数・回答数・有効回答率	配布数		回答数		有効回答率	
	349		240		68.8%	
性別 (M/F)	M			F		
	87.1%			10.8%		
年齢	20代	30代	40代	50代	60代	
	0.4%	3.8%	23.3%	35.0%	33.3%	
研究者/実務家	研究者			実務家		
	50.4%			48.3%		
担当科目領域	教育課程	教科指導		生徒指導		学級経営
	30.8%	46.3%		27.5%		19.2%
	学校経営	学校・教員		その他		
	26.7%	24.2%		15.8%		

(2) 回答の集計結果

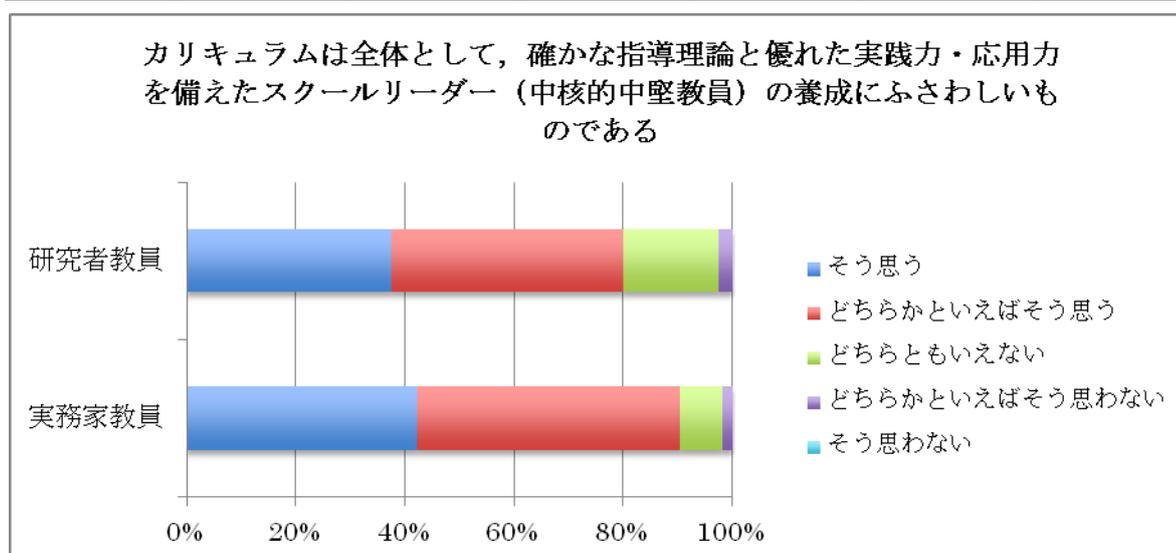
Q1-1.カリキュラムは全体として、新しい学校づくりの有力な一員となり得る新任教員の養成にふさわしいものである。

教員種別	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	合計
研究者教員	43(35.8)	48(40.0)	22(18.3)	6(5.0)	1(0.8)	120(100.0)
実務家教員	43(37.1)	62(53.4)	10(8.6)	1(0.9)	0(0.0)	116(100.0)
合計	86(36.4)	110(46.6)	32(13.6)	7(3.0)	1(0.4)	236(100.0)



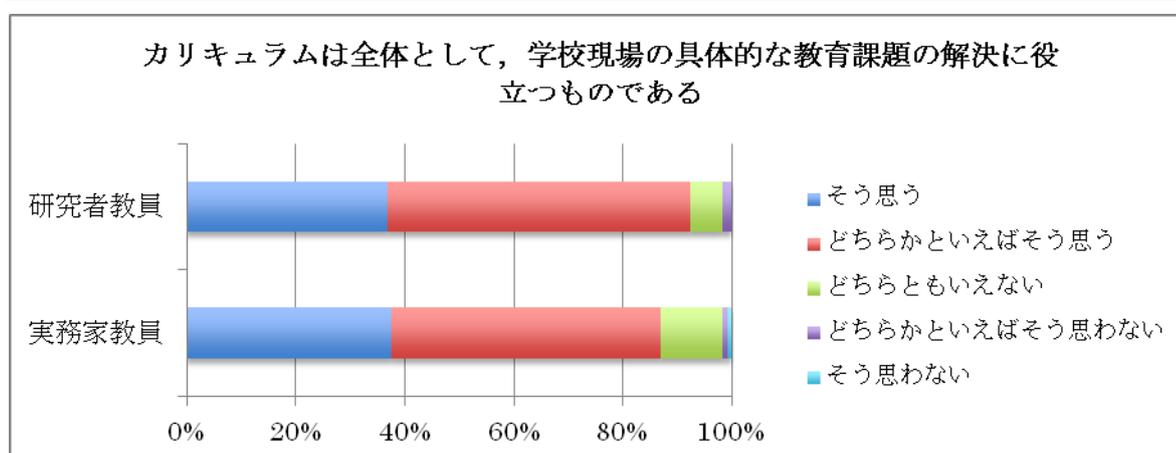
Q1-2.カリキュラムは全体として、確かな指導理論と優れた実践力・応用力を備えたスクールリーダー（中核的中堅教員）の養成にふさわしいものである。

教員種別	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	合計
研究者教員	45(37.5)	51(42.5)	21(17.5)	3(2.5)	0(0.0)	120(100.0)
実務家教員	49(42.2)	56(48.3)	9(7.8)	2(1.7)	0(0.0)	116(100.0)
合計	94(39.8)	107(45.3)	30(12.7)	5(2.1)	0(0.0)	236(100.0)



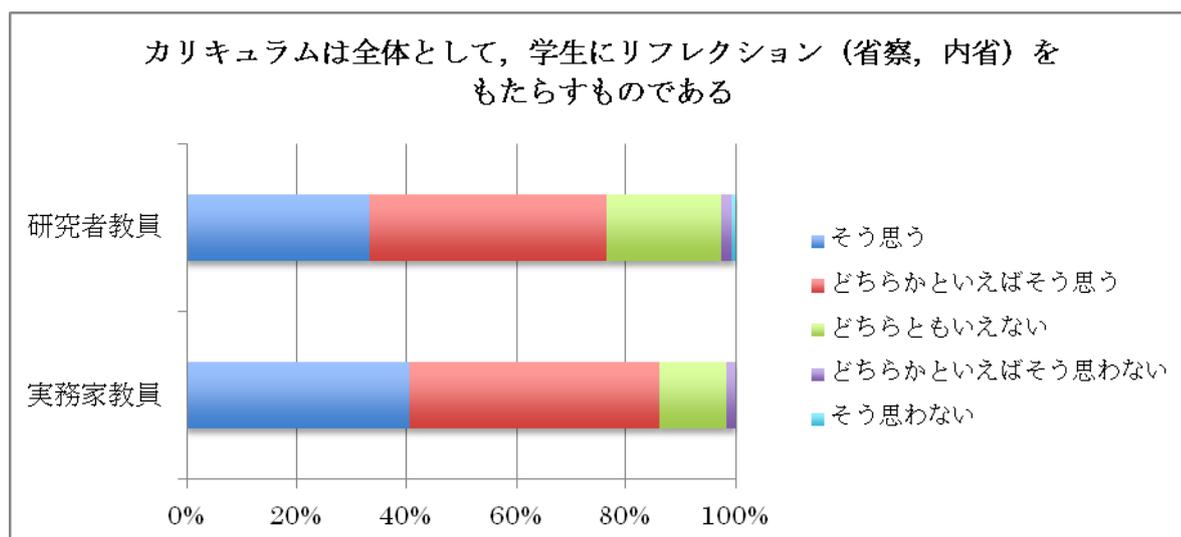
Q1-3.カリキュラムは全体として、学校現場の具体的な教育課題の解決に役立つものである。

教員種別	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	合計
研究者教員	44(36.7)	67(55.8)	7(5.8)	2(1.7)	0(0.0)	120(100.0)
実務家教員	43(37.4)	57(49.6)	13(11.3)	1(0.9)	1(0.9)	115(100.0)
合計	87(37.0)	124(52.8)	20(8.5)	3(1.3)	1(0.4)	235(100.0)



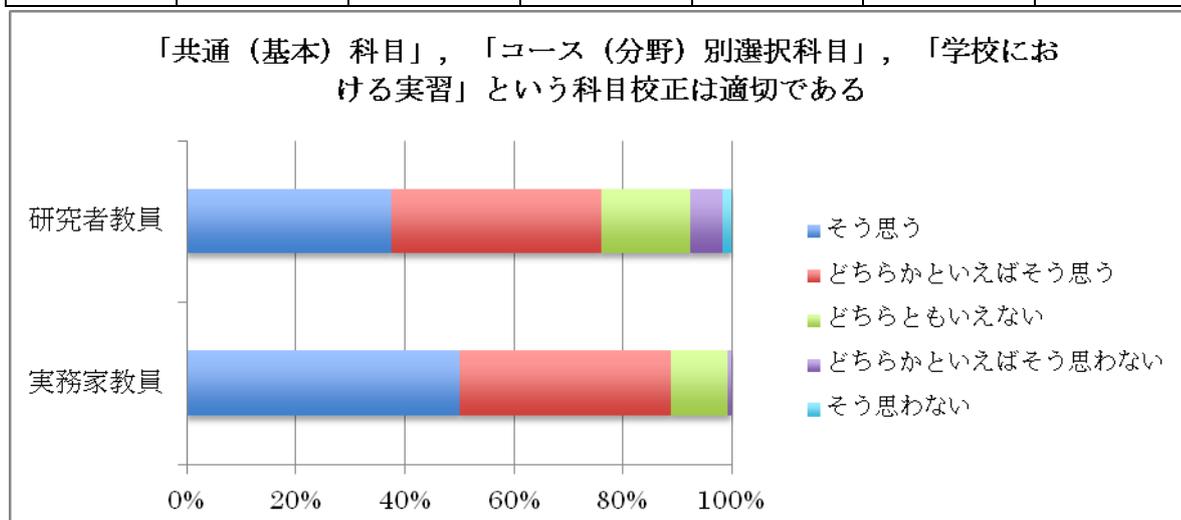
Q1-4. カリキュラムは全体として、学生にリフレクション(省察, 内省)をもたらすものである。

教員種別	そう思う	どちらかとい えばそう思う	どちらともいえ ない	どちらかとい えばそう思わ ない	そう思わない	合計
研究者教員	40(33.3)	52(43.3)	25(20.8)	2(1.7)	1(0.8)	120(100.0)
実務家教員	47(40.5)	53(45.7)	14(12.1)	2(1.7)	0(0.0)	116(100.0)
合計	87(36.9)	105(44.5)	39(16.5)	4(1.7)	1(0.4)	236(100.0)



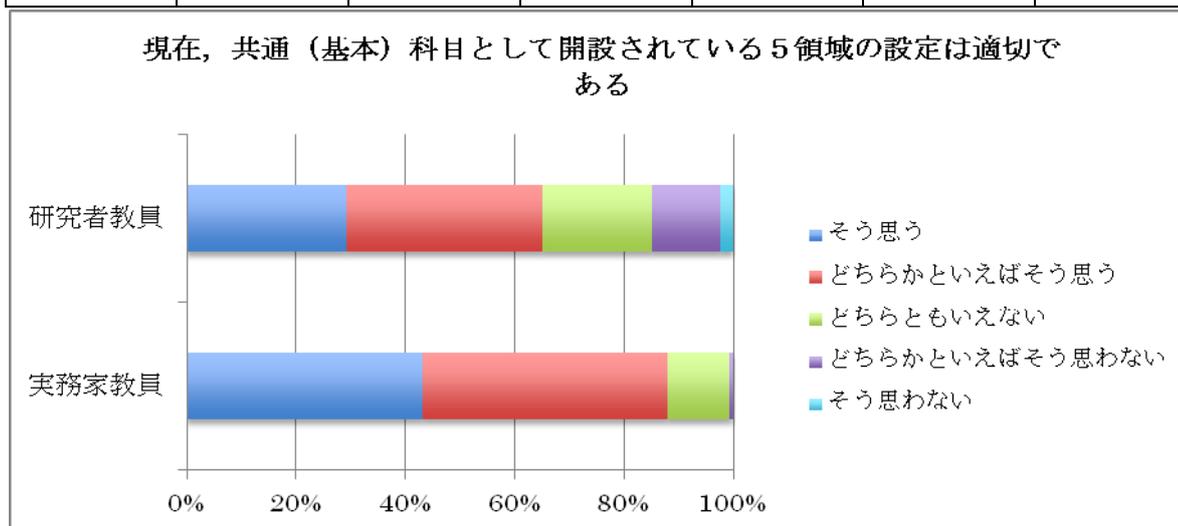
Q1-5.「共通(基本)科目」,「コース(分野)別選択科目」,「学校における実習」という科目構成は適切である。

教員種別	そう思う	どちらかとい えばそう思う	どちらともいえ ない	どちらかとい えばそう思わ ない	そう思わない	合計
研究者教員	45(37.5)	46(38.3)	20(16.7)	7(5.8)	2(1.7)	120(100.0)
実務家教員	58(50.0)	45(38.8)	12(10.3)	1(0.9)	0(0.0)	116(100.0)
合計	103(43.6)	91(38.6)	32(13.6)	8(3.4)	2(0.8)	236(100.0)



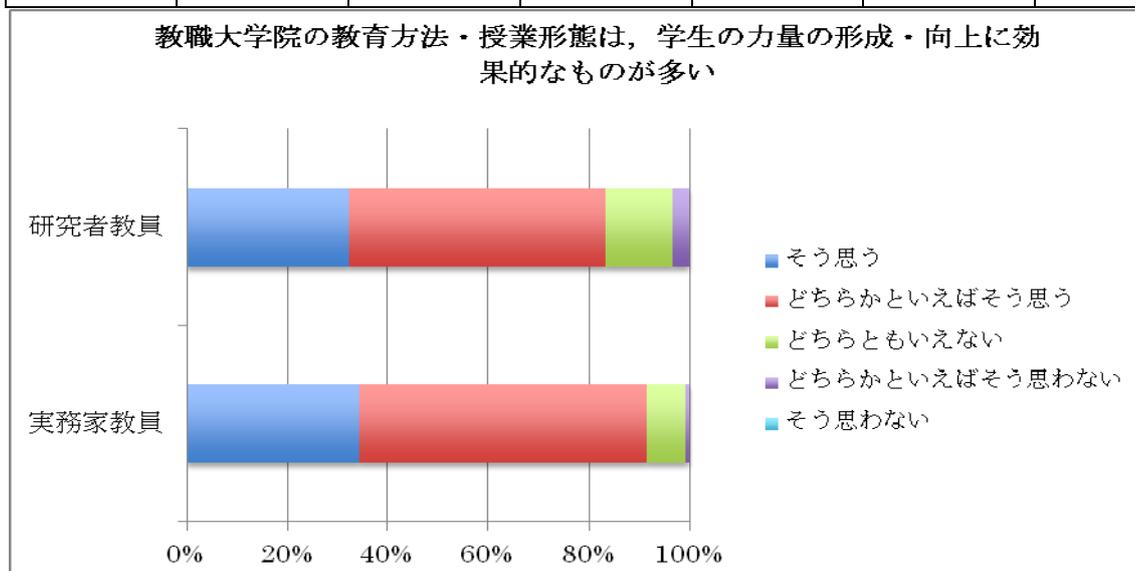
Q1-6(a).現在、共通(基本)科目として開設されている5領域(※)の設定は適切である。

教員種別	そう思う	どちらかとい えばそう思う	どちらともいえ ない	どちらかとい えばそう思わ ない	そう思わない	合計
研究者教員	35(29.2)	43(35.8)	24(20.0)	15(12.5)	3(2.5)	120(100.0)
実務家教員	50(43.1)	52(44.8)	13(11.2)	1(0.9)	0(0.0)	116(100.0)
合計	85(36.0)	95(40.3)	37(15.7)	16(6.8)	3(1.3)	236(100.0)



Q3-1(a).教職大学院の教育方法・授業形態は、学生の力量の形成・向上に効果的なものが多い。

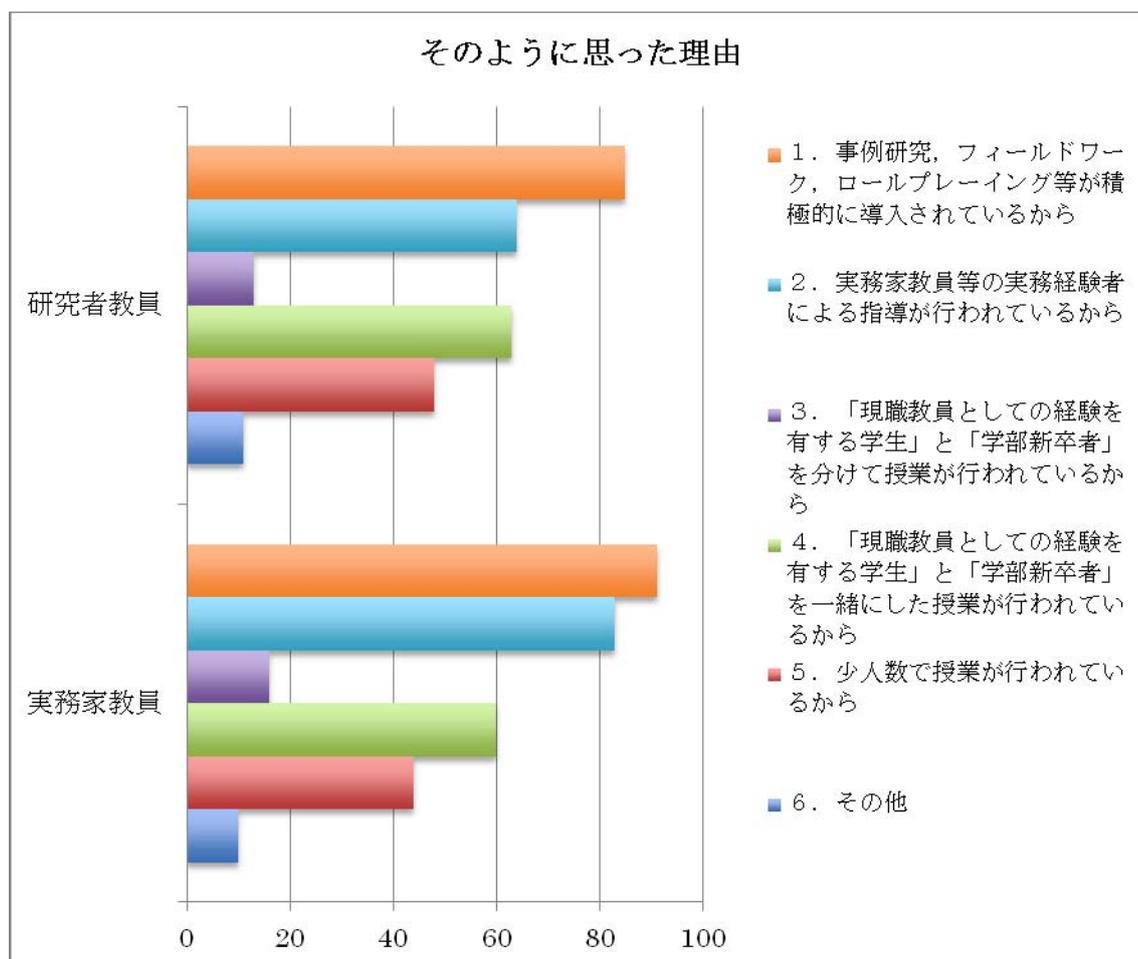
教員種別	そう思う	どちらかとい えばそう思う	どちらともいえ ない	どちらかとい えばそう思わ ない	そう思わない	合計
研究者教員	39(32.5)	61(50.8)	16(13.3)	4(3.3)	0(0.0)	120(100.0)
実務家教員	40(34.5)	66(56.9)	9(7.8)	1(0.9)	0(0.0)	116(100.0)
合計	79(33.5)	127(53.8)	25(10.6)	5(2.1)	0(0.0)	236(100.0)



Q3-1(b),Q3-1(a)で「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した方のみにお聞きします。

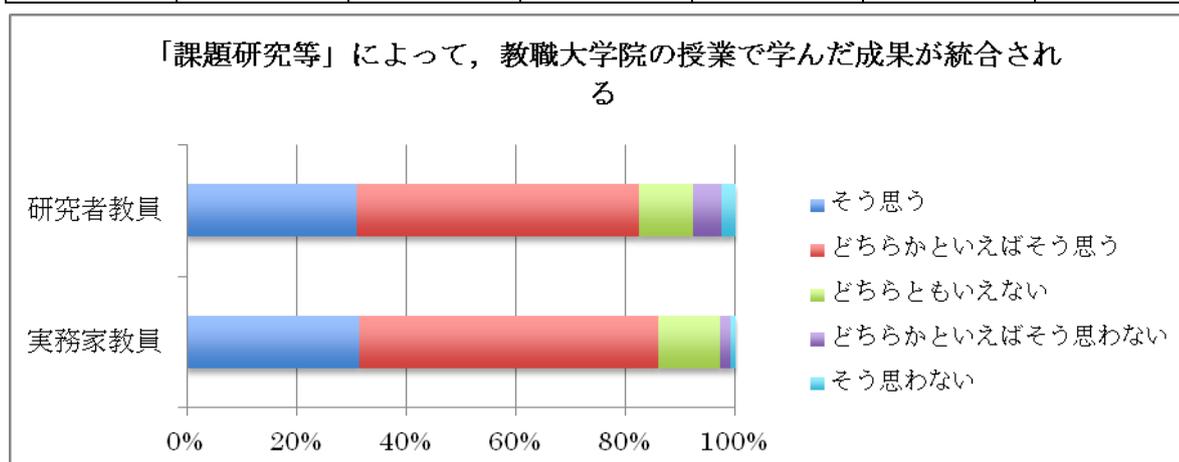
そのように思われたのはなぜですか。あてはまるものを全て選んでください。

教員種別	1. 事例研究, フィールドワーク, ロールプレイング等が積極的に導入されているから	2. 実務家教員等の実務経験者による指導が行われているから	3. 「現職教員としての経験を有する学生」と「学部新卒者」を分けて授業が行われているから	4. 「現職教員としての経験を有する学生」と「学部新卒者」を一緒にした授業が行われているから	5. 少人数で授業が行われているから	6. その他⇒具体的に記入してください。
研究者教員	85 (85.0)	64 (64.0)	13 (13.0)	63 (63.0)	48 (48.0)	11 (11.0)
実務家教員	91 (85.8)	83 (78.3)	16 (15.1)	60 (56.6)	44 (41.5)	10 (9.4)
合計	176 (85.4)	147 (71.4)	29 (14.1)	123 (59.7)	92 (44.7)	21 (10.2)



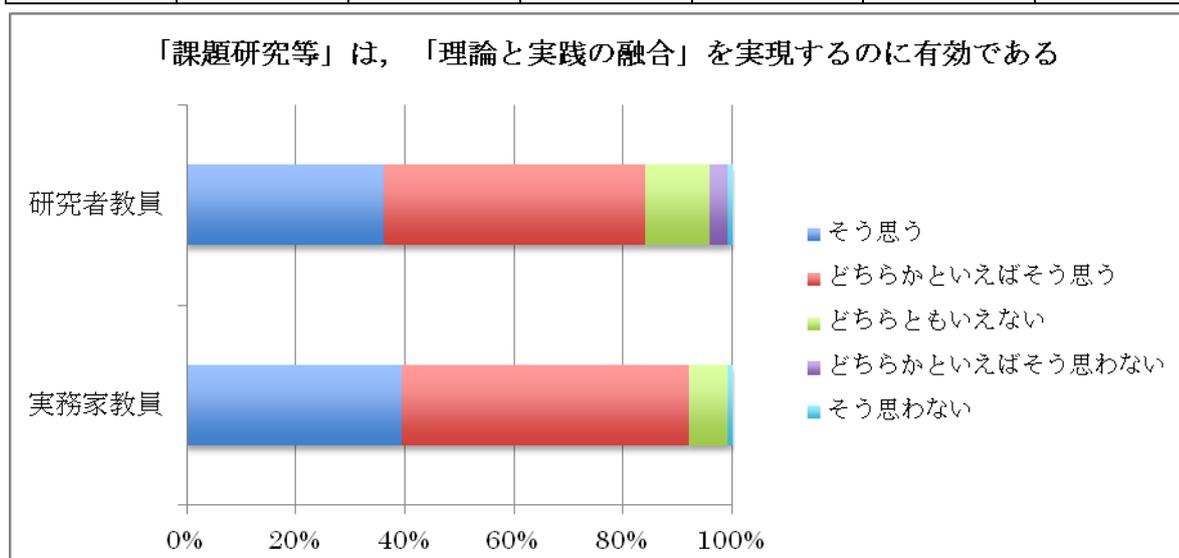
Q5-1.「課題研究等」によって、教職大学院の授業で学んだ成果が統合される。

教員種別	そう思う	どちらかとい えばそう思う	どちらともいえ ない	どちらかとい えばそう思わ ない	そう思わない	合計
研究者教員	37(31.1)	61(51.3)	12(10.1)	6(5.0)	3(2.5)	119(100.0)
実務家教員	36(31.6)	62(54.4)	13(11.4)	2(1.8)	1(0.9)	114(100.0)
合計	73(31.3)	123(52.8)	25(10.7)	8(3.4)	4(1.7)	233(100.0)



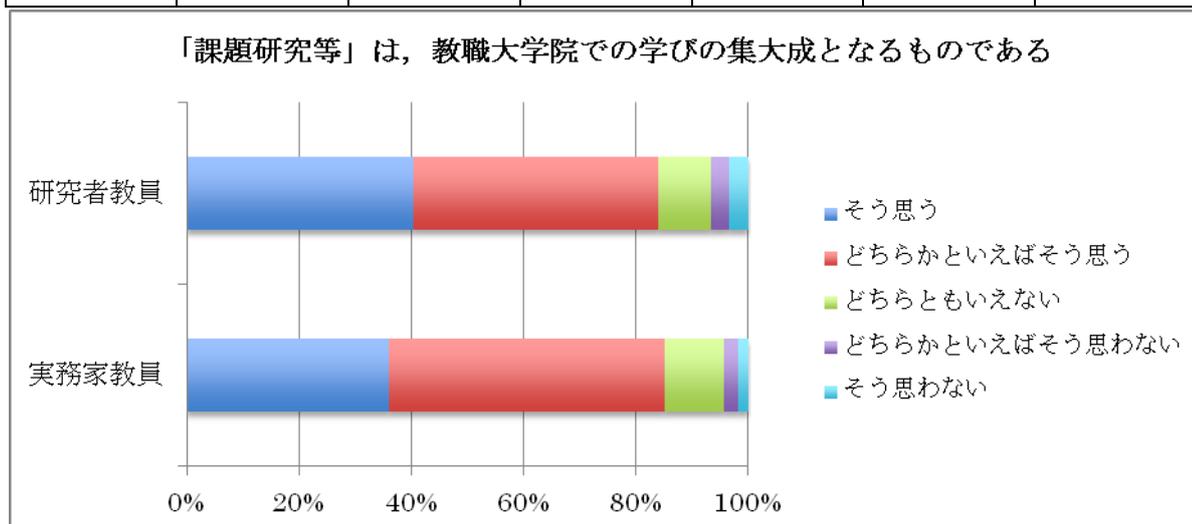
Q5-2.「課題研究等」は、「理論と実践の融合」を実現するのに有効である。

教員種別	そう思う	どちらかとい えばそう思う	どちらともいえ ない	どちらかとい えばそう思わ ない	そう思わない	合計
研究者教員	43(36.1)	57(47.9)	14(11.8)	4(3.4)	1(0.8)	119(100.0)
実務家教員	45(39.5)	60(52.6)	8(7.0)	0(0.0)	1(0.9)	114(100.0)
合計	88(37.8)	117(50.2)	22(9.4)	4(1.7)	2(0.9)	233(100.0)



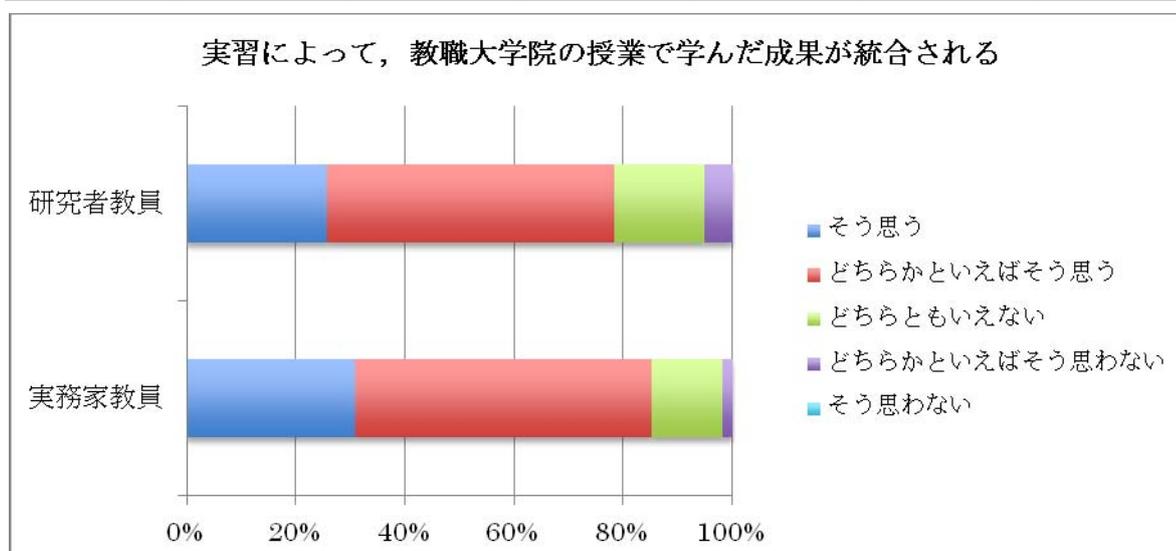
Q5-3.「課題研究等」は、教職大学院での学びの集大成となるものである。

教員種別	そう思う	どちらかとい えばそう思う	どちらともいえ ない	どちらかとい えばそう思わ ない	そう思わない	合計
研究者教員	48(40.3)	52(43.7)	11(9.2)	4(3.4)	4(3.4)	119(100.0)
実務家教員	41(36.0)	56(49.1)	12(10.5)	3(2.6)	2(1.8)	114(100.0)
合計	89(38.2)	108(46.4)	23(9.9)	7(3.0)	6(2.6)	233(100.0)



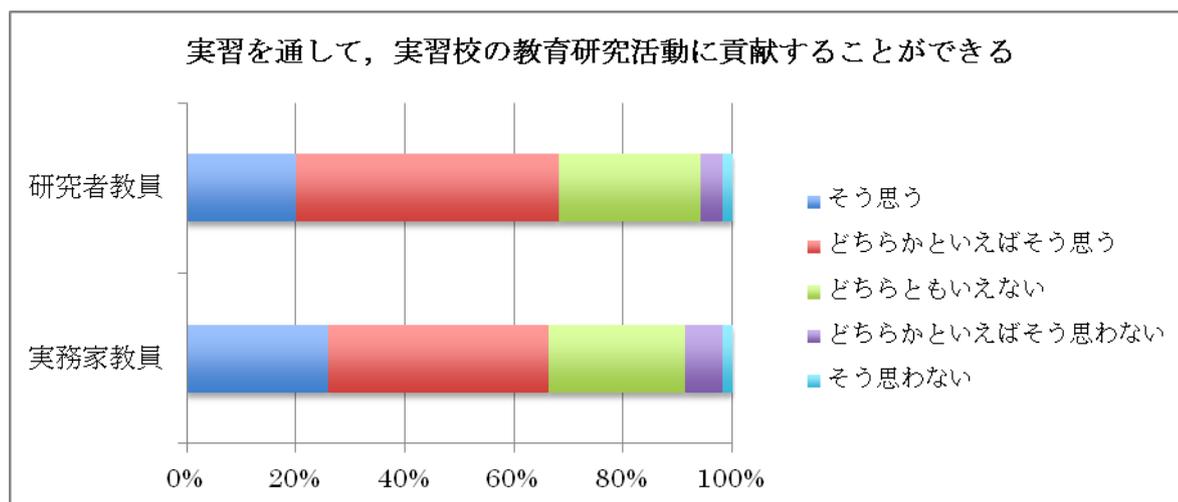
Q7-1.実習によって、教職大学院の授業で学んだ成果が統合される。

教員種別	そう思う	どちらかとい えばそう思う	どちらともい えない	どちらかとい えばそう思わ ない	そう思わない	合計
研究者教員	31(25.8)	63(52.5)	20(16.7)	6(5.0)	0(0.0)	120(100.0)
実務家教員	36(31.0)	63(54.3)	15(12.9)	2(1.7)	0(0.0)	116(100.0)
合計	67(28.4)	126(53.4)	35(14.8)	8(3.4)	0(0.0)	236(100.0)



Q7-2.実習を通して、実習校の教育研究活動に貢献することができる。

教員種別	そう思う	どちらかとい えばそう思う	どちらともいえ ない	どちらかとい えばそう思わ ない	そう思わない	合計
研究者教員	24(20.0)	58(48.3)	31(25.8)	5(4.2)	2(1.7)	120(100.0)
実務家教員	30(25.9)	47(40.5)	29(25.0)	8(6.9)	2(1.7)	116(100.0)
合計	54(22.9)	105(44.5)	60(25.4)	13(5.5)	4(1.7)	236(100.0)



Q7-3.実習は、「理論と実践の融合」を実現するのに有効である。

教員種別	そう思う	どちらかとい えばそう思う	どちらともい えない	どちらかとい えばそう思わ ない	そう思わない	合計
研究者教員	36(30.0)	61(50.8)	18(15.0)	5(4.2)	0(0.0)	120(100.0)
実務家教員	53(45.7)	50(43.1)	11(9.5)	2(1.7)	0(0.0)	116(100.0)
合計	89(37.7)	111(47.0)	29(12.3)	7(3.0)	0(0.0)	236(100.0)

